



さおばかり
棹秤

昭和時代

重さをはかる秤の一つとして使われました。フックにはかりたいものをひっかけ、もう片方に決まった重さの分銅を吊り、両方が釣り合えばはかりたいものの重さが分かる仕組みです。

郷土資料館蔵